



ほほえみ

2024.1.1
(令和6年1月1日)

第203号

大竹市社協だより・大竹市民児協だより合併号



2023年11月22日(水) 子育てサロン「すこやか」で開催した、人形劇「どんぐり座」の公演の様子。



ふれあいネットワーク

愛ちゃん と 希望くん



この広報紙は共同募金（赤い羽根）配分金を受けて発行しています。

新年のごあいさつ

大竹市社会福祉協議会

会長 西尾裕次



あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス感染症の類型がら類に引き下げられて、日常の活動が復活して各地区の秋祭りなども通常通り開催されて賑わいを取り戻しています。

恒例の大竹ふれあい健康・福祉まつりも4年ぶりに開催できました。天候にめぐまれて多くの市民の方にご来場いただき、盛大に開催できましたことに感謝申し上げます。ありがとうございました。

また、いつも大竹市社会福祉協議会の運営にご理解、ご支援を賜り深く感謝申し上げます。

コロナ禍の影響で、停滞していた地域での活動が再開されておりますが、ここ2年から3年の空白期間は予想以上に、地域のつながりの希薄化が進み、健康を崩される方が増えてしまったことに愕然としてしまいました。再度ゼロからの積み上げを目指して、地域のお世話をしてくださる方と共に努力しております。そのような状況を理解していただき、多くの地域の方にご参加いただければと考えておりますので、よろしく願っています。

今年も、大竹市社会福祉協議会では皆さま方の生活に密着した活動に専念して、「安心・安全で住みたい、住んで良かった」と感じる福祉のまちづくりを目指します。

皆様のご支援、ご協力を心からお願い申し上げますとともに、本年が皆さま方にとりまして幸多い年となりますよう、心からお祈り申し上げ新年のごあいさついたします。

子育てサロン すこやか

餅つき大会

小さなお子さんと一緒に、季節の行事を楽しみましょう。

お父さんの参加も
大歓迎！！

日 時: 令和6年1月24日(水) 10:30~11:30

場 所: サントピア大竹

対象者: 未就学児の親子

参加費: 無料

問い合わせ: 地域福祉係 TEL 52-2275



「ふれあいサロン」立ち上げ支援

地域福祉係では、「ふれあいサロン」の立ち上げをお手伝いします。

ご近所同士で知り合い、楽しみながら交流し、人と人がつながり合う。そんな集いの場「ふれあいサロン」をつくってみませんか？

家に閉じこもりがちな高齢者、子育て中の親御さん、障がいのある方など、誰もがいきいきと暮らせる地域を「ふれあいサロン」を通して一緒につくっていきましょう。

「ふれあいサロン」では

- 体操(イスに座って)
- 防災、特殊詐欺被害防止、健康講座、スマホ関連などの様々な研修会
- 手芸
- レクリエーション
- おしゃべり会
- 子どもの居場所づくり

などの活動を行っています。



そのほか、**活動に関する助成金**や**保険の相談**も承ります。

詳しくは下記までお問合せください。

地域福祉係

TEL 52-2275

メール tiiki@otake-shakyo.or.jp

大竹ふれあい健康・福祉まつり

10月22日(日)に、サントピア大竹で4年ぶりに「大竹ふれあい健康・福祉まつり」を開催しました。

この日は天候にも恵まれ、多くの皆さまにお越しいただき、会場はにぎわいました。

館内では、子どもたちが楽しめるゲームコーナーや脳年齢・脳ストレスチェックなどの各種測定コーナー、栄養相談や運動相談などの相談コーナー、福祉団体等の演芸発表などを設けて、屋外ではバザーやフリーマーケットで食事や買い物を来場者の皆さんに楽しんでいただきました。

多くの皆さんにお越しいただいたことで、久々に「大竹ふれあい健康・福祉まつり」を通して、健康や福祉に関することの啓発活動ができました。ありがとうございました。

フリーマーケットへの遊休品を提供していただき、ありがとうございました。
おかげさまで、100,000円を売り上げることができました。
全額、大竹市社会福祉協議会の福祉事業に活用いたします。

「優男がゆく!」
Youtubeページにて、
福祉まつりの様子を
紹介しています。



健康相談コーナー



お客様いっぱい フリーマーケットコーナー



ステージ発表



阿多田保育園

大竹市阿多田403-9
TEL 53-7062

勤労感謝プレゼント渡し

勤労感謝の日はお仕事をする人にありがとうを伝える日。子どもたちとプレゼントを作って、感謝の気持ちを伝えに行きました。



阿多田島郵便局



阿多田島漁協組合



阿多田島漁協組合



阿多田島郵便局



阿多田島漁協組合



阿多田島漁協組合



「ぶらっとほーむ」



♪と～しのは～じめのためし～とて～♪
皆さまあけましておめでとうございます。
昨年中は大変お世話になり誠にありがとうございました。
本年もよろしくお願いいたします。



「ぶらっとほーむ」では毎年11月末恒例のしめ縄の飾りつけやウラジロを詰める作業を急ピッチでしております。

購入してくださる皆さまが「今年一年がより良い年となりますように」と思いを込めて、一つひとついねいに作業をしております。

今年一年も「ぶらっとほーむ」一同、ワンチームで盛り上げていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

就労継続支援B型事業所
大竹さつき作業所

TEL 57-3935

就労継続支援B型事業所
アイビー作業所

TEL 35-6655

〒739-0624

大竹市御園2丁目11-15

FAX: 35-5758 (共通)

障がい児親子ふれあい祭り

令和5年12月3日(日)サントピア大竹3階多目的ホールで「親子ふれあい祭り」を開催しました。放課後等デイサービス「イリーサ」と、こどもサポート教室「きらり」廿日市校の協力もあり、10家族(保護者11名子ども18名)が参加し、親子で楽しい時間を過ごしました。



使いやすい文房具の紹介がありました。その文房具を使って、クリスマスツリーを作成しました。



元気よくストラックアウトにチャレンジ!!



eスポーツは子どもたちに大人気でした。

とあ
お問合わせ・ご相談

〒739-0603
おおたけしにきかえ

大竹市西栄 2-4-1

おおたけ ししゅう

大竹市障がい者相談支援センター

しゃそうだん し えん

おおたけし そうごうふくし

大竹市総合福祉センター サントピア大竹 1階 地域福祉課

FAX: (0827) 53-8122 メール: soudan@otake-shakyo.or.jp

TEL: (0827) 52-0167

生活の不安や困りごと…ひとりで悩まず、ご相談ください!

よりそいサポートセンター(生活困窮者自立相談支援事業)のご案内

自立相談支援

あなただけの支援プランを作ります

生活の不安や困りごとを抱えている方は、まずはご相談ください。お話をお聞きし、問題を整理して、あなたにどのような支援が必要かを一緒に考えます。あなただけの支援プランを作成し、寄り添いながら支援を行います。

就労準備支援

あなたの「働きたい!」を応援

生活リズムを直したい。履歴書の作成や面接の練習をしたい。人と関わる活動から始めてみたい…。一人ひとりの思いを聞き、その人なりの生き方を尊重しながら多様な支援を行います。

住居確保給付金の支給

家賃相当額を支給します ※収入要件、上限額あり

離職等により住居を失った方、または失うおそれのある方に対して、就職に向けた活動を行うこと等を条件に、一定期間、家賃相当額を支給します。生活基盤となる住居を整えた上で就職活動ができるようサポートします。

家計改善支援

家計の立て直しをアドバイス

家計の収支状況などを「見える化」して、原因や課題を把握します。また、債務相談にかかわる専門機関へのつなぎ、必要に応じて貸付制度の紹介等を行い、早期の生活再建を支援します。

支援機関の紹介・同行など

利用できる制度やサービスの紹介

あなたが抱えているさまざまな課題の解決に向けて、他の制度やサービス、専門機関が活用できる場合は、相談支援員が紹介または同行して利用を支援します。

この事業は、大竹市より委託を受けて実施しています。

相談は、無料です。

【相談窓口】

総務課

よりそいサポートセンター

TEL 35-5300

FAX 53-8122

いつでも声をかけてください
お待ちしております!





〈一般の部〉

これまで5回応募のうち 4回入選!!

背越しの
会話感謝の
車椅子

作品にこめた思い

難聴の母を車椅子に乗せ、土手道を大声で話しながら散歩した日、母が私の額の汗を見て「今日は感謝じゃね」と言って手を合わせてくれた嬉しかったあの日の事を思い出し、句にしました。



山岡さん

川柳の良いところ

喜びや悲しみを川柳は受け止めてくれる。私自身も川柳をつくることで救われたという経験があります。



弘兼先生

作品にこめた思い

ゆうあいデイセンターに行くのが楽しみです。職員さんもいつも優しく笑顔で接してくれます。



辻元さん

ゆうあいで
会う人に笑み
明日もまた

直接、照れくさくて言えないことも句にすることで思いが伝わり、ところどころ川柳のいいところだと思います。自分の気持ちを五七五に入れ込むことで読む側に想像させる世界だと思います。



弘兼先生



問い合わせ先 大竹市地域包括支援センター TEL 0827-53-1165

プロジェクト ～社協の挑戦～



介護川柳10周年 特集！

11月11日は、介護の日になんで、多くの方に介護への関心をもていただくために、平成26年から介護川柳という形で、介護を通じて感じたこと、できごとなどを表した作品を募集しています。

11月号では今年度第10回の入選作品と入選者を発表させていただきましたが、今月はその中から3名の方にどのような思いで句を詠まれたのか伺ってみました。

〈こどもの部〉

たすけるぞ
げんきにするぞ
おじいちゃん



大竹小学校1年生
三上さん

作品にこめた思い

おじいちゃんがあまりごはんを食べなくなったのが心配だったので助けて、あげたいと思いました。

1年生は、介護という言葉や川柳もなかなか難しいですが、ヒントを与えると純粋な言葉として思いがでてきました。



大竹小学校 兼田校長先生

介護川柳10周年特集は
「優男がゆく！」でも
紹介しています

ぜひYoutube
ページを
ご覧下さい!!



「優男がゆくのQRコード」



こんにちは！大竹市地域包括支援センターです。



あけましておめでとうございます！本年もケアが必要な人だけでなく、ケアをする人にも寄り添い、様々な立場の方のサポートを行ってまいります。お気軽にご相談下さい。

令和5年度「介護の日」講演会 を開催しました (重層的支援体制整備準備事業研修会)

「11月11日は介護の日」にちなみ、昨年12月7日(木)に令和5年度介護の日講演会(重層的支援体制整備準備事業研修会)を開催させていただきました。

『ヤングケアラーってなに?』をテーマに、

NPO法人 家族介護者サポートネットワーク・はびねす代表の北川朝子さん、

広島都市学園大学 名誉教授／高陽ヤングケアラー広場代表の山本力ヨ子さんの2名の講師にご講演いただきました。

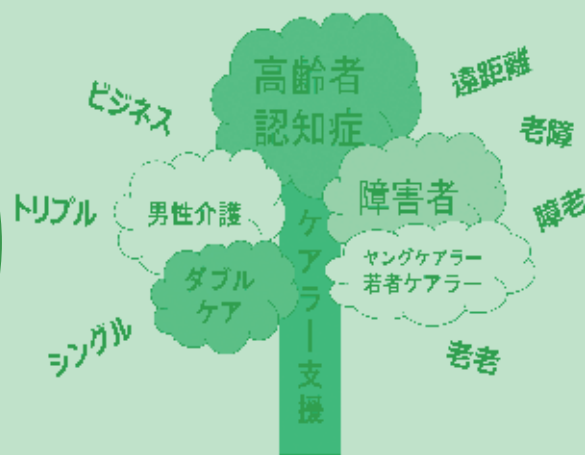


ヤングケアラーとは？

本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもや若年層のこと



ヤングケアラーの問題は各家庭の問題ではありません。ケアラーを他人ごとと捉えず、我がこととして考える。子どもが子どもらしく成長していくように、家族みんなを支援しましょう。



ヤングケアラーだけでなく、障害や病気を抱えた子を育てる親、親や親族の介護に関わっている方、育児と介護のダブルケアを行っている方…世代を問わず何らかのケアをしている人「ケアラー」は身近にたくさんいらっしゃいます。しかし、ケアラーをサポートする体制はまだまだ少ない現状です。ケアラーもケアを受ける人と同様に、一人の個人として健康で、自分らしい生活を送れることが望ましいです。

まずは身近にいる皆さんが気づき、あいさつなどさりげなく声を掛けたり、手を差し伸べたりすることで「誰かに頼っていいんだ」「ひとりじゃない」と思える環境を一緒に作っていきませんか？



問い合わせ：大竹市地域包括支援センター TEL 53-1165

…👉 技能ボランティアさん派遣 …

派遣先……………大竹高校総合学科

日 時……………令和5年10月24日(火)・25日(水) 11月10日(金)

福祉関係の仕事を希望している生徒3年生7名、2年生8名に技能ボランティアの「手話グループぽぽんた」、「ママとKAMEの会」、「点字グループあけぼの」のみなさんが講座をしました。手話は自己紹介から簡単なあいさつ、日常会話、ゲームや歌なども取り入れた講座でした。点字は、点字器の使い方を学び、点筆で名前を書き、しおりを作成しました。

手話や点字の体験の他、ボランティアさんの中で生まれつき聴覚に障害がある方の話や聴覚障害の子どもを育てた方の話などもありました。また、生徒の皆さんから講座終了後、手話表現したいという声や、言葉についての質問などもあり、どの講座も、有意義な時間でした。



2年生 ぽぽんた



3年生 ママとKAMEの会



2年生 点字あけぼの



3年生 点字あけぼの

ヘルパー実技講習会開催

私たちと一緒にヘルパーとして働いてみませんか？

大竹市社協訪問介護事業所では、私たちと一緒にヘルパーとして働いていただける方を求めています。資格を持っているのに介護の仕事に就いていない方を対象に講座を開催します。

多くの皆さまの受講をお待ちしています。

実施場所：大竹市総合福祉センター「サントピア大竹」

対 象 者：大竹市近郊在住の有資格者(ヘルパー2級、介護職員初任者研修等)

日 時：2月13日(火)～16日(金)、19日(月)の間で2日間、

10:00～18:00の間で2時間程度

※希望に応じます。

講義内容：生活支援 身体介護

講 師：大竹市社協訪問介護事業所 職員

受 講 料：無料

申し込み：2月5日(月)まで

連 絡 先：大竹市社協訪問介護事業所 TEL (0827)52-2227



QRコードを読み取ると、ちゅピCOM番組『優男がゆく』の「社協ヘルパーさんに密着」の放送回が視聴可能です。ヘルパーの仕事内容を動画で紹介していますので、ぜひご覧ください。



あたたかいご寄付 ありがとうございます

令和5年10月1日から
令和5年11月30日まで

皆様からいただいたご寄付は、福祉のまちづくりのために、有効に活用させていただきます。

ここに、ご芳名を掲載させていただきます。また、ご寄付の金額表示につきましては、ご寄付者のご意向によるものです。

◆香典返しにかえて

金一封 妻 美穂子 本間謹治 本町2

夫 傳 森本定子 油見3

母 多喜子 向井 学 油見2

母 ミツコ 河内博幸 木野1

◆一般寄付

金一封 匿名

東南アジアの子どもを

就学させるため

十万円 大竹市社協役職員

福祉関係団体有志一同

フリーマーケット売上金として

七万四千二百円

福祉まつり部会

福祉まつり売上金として

金一封 ほほえみの会

福祉まつりフリーマーケット

の売上の一部として

八万千円

油見いきいきネットワーク

ボランティアグループ解散の為

《合計金額 9件 56万 200円》

『やさしい相続・後見』無料相談会を開催します。

会 場：サントピア大竹

日 時：令和6年2月3日(土)

(大竹市総合福祉センター)

①講演：午後1時～午後2時(申込不要)

2F会議室

「相続登記義務化について 他」

(大竹市西栄2丁目4-1)

②個別相談会：午後2時15分～午後4時45分

主 催：広島司法書士会西支部

(要事前申込、各回50分3部制、定員有(6名程度))

申込先：広島司法書士会

電話082-221-5345

担当・山本

(令和6年1月5日から受付開始、受付時間午前9時から午後5時30分)

学 習 会

事業名	と き	時 間
手話「さつき」	毎月第2・4火曜日	19時00分～20時30分
手話「ママとKAMEの会」	毎月第1・3木曜日	10時00分～12時00分
手話「ぼぼんた」	毎月第2・4月曜日	10時00分～12時00分
点字「あけぼの」	①月初め(広報等の点訳) ②第3土曜日(勉強会)	9時30分～9時30分～11時30分
「あけぼの」音訳	毎月第2・4金曜日	10時00分～12時00分
要約筆記「ふたば」	毎月第1・3土曜日	13時00分～15時00分

定 例 的 な 事 業

事業名	と き	時 間	内 容
子育てサロン「すこやか」	毎週水曜日	10時00分～12時00分	親子同士がふれあう憩いの場です。
認知症の人との集い「やすらぎの家」	第2、4水曜日	10時00分～15時00分	認知症の人が集う憩いの場です。
サークル「青空」	毎月第1木曜日	10時00分～12時00分	心の病気をもちの方が一緒に過ごす憩いの場です。
サークル「憩い」	毎月第4木曜日	10時00分～14時00分	精神障がいをお持ちの方が楽しく集える場所です。
ひきこもり支援定例会	毎月第4火曜日	10時00分～11時30分	ひきこもりについての情報交換、つながりの場です。
つどいの広場	毎月一回	16時00分～20時00分	小中高生が対象のつどいです。夕食の提供があります。

相 談 窓 口

事業名	と き	時 間
司法書士による相談(要予約)	毎月第3木曜日(祝日休み)	13時00分～16時00分
よりそいサポートセンター	月～金(祝日休み)	9時00分～17時00分
障がい者相談支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分
地域包括支援センター	月～金(祝日休み)	8時30分～17時15分

申込み・問い合わせはいつでも

大竹市社会福祉協議会

TEL 52-2211 FAX 53-8122

編集発行：大竹市社会福祉協議会(大竹市西栄二丁目4番1号 大竹市総合福祉センター[サントピア大竹]内)

メールアドレス<info@otake-shakyo.or.jp> ホームページ<http://www.otake-shakyo.or.jp/>



民児協だより

第53号

大竹市民生委員児童委員協議会

大竹市西栄2丁目4-1
TEL 52-2235

新春のご挨拶



大竹市民生委員
児童委員協議会
会長 松田 道男

あけましておめでとございます。
皆様方におかれましては、明るく希望に満ちたお正月を迎えられたことお慶び申し上げます。

さて、新型コロナウイルス感染症も位置づけがら類に変更され、ようやく人の動きも元に戻りつつある昨今ですが、感染防止対策を怠らないようにしたいものです。

コロナ禍の中で多くの人が他人との関わりに不自由さを感じ、問題を抱えているように見受けられます。お互いが笑って暮らせるよう見守りたいものです。民生委員児童委員として様々な課題に相談していただけるよう見識を高めていく所存でございますので、気兼ねなく相談してみてください。行政への橋渡し役として委員一同尽力いたします。皆様方のご理解、ご協力をお願いいたします。

昨年に引き続き、『ありがとう』でございます『おかげさまで』『お互いさま』の言葉を胸に努力して参りますので、本年もよろしく願いたします。



大竹市長との意見交換会

10月27日(金)午前、市役所3階大会議室において、大竹市長との意見交換会が行われました。大竹市からは、入山市長、太田副市長、小西教育長、三原健康福祉部長等の10名のご出席をいただき、大竹市民児協からは理事及び事務局の12名が参加しました。

この会は、民生委員児童委員が日々の活動の中で感じたことや担当地区の住民からお伺いした意見等について、大竹市と共有するとともに、要望・意見具申を行う目的で開催しています。

今年度も大竹市民児協として意見集約した後、その内容を関係部署にお願いし、全ての意見等に対して事前に大筋の回答や見解をまとめていただきました。当日は限られた時間を有効に活用したいとの思いから、以下の4つの問題に絞り意見交換を行いました。



- (1) ヤングケアラーなど児童福祉に関する問題について
 - (2) 災害時の避難所や防災放送について
 - (3) 市内の交通危険箇所等の問題について
 - (4) 民生委員児童委員の活動に関する問題について
- 各理事からの意見に対して、大竹市からは真摯にご対応いただくとともに、活発な意見交換が行われました。会の終了にあたり、入山市長からは民生委員児童委員の日頃の活動に対するねぎらいのお言葉をいただきました。公務・多用の中、私たち委員との有意義な意見交換の場を設定して下さった、大竹市関係者の皆様にお礼申し上げます。



こんにちは赤ちゃん訪問

この事業は、大竹市との共催事業として、各地区担当の主任児童委員と民生委員児童委員が生後3〜4か月の赤ちゃん宅を訪問し、大竹市の子育て情報を提供し、子育てに関する相談などをお伺いするものです。今年度、コロナ感染症が5類に移行し、赤ちゃん訪問もようやく本来の形に戻ってきました。

今回、新町1丁目の岡本様宅を訪問させていただきました。お二人目のお子さんとなる葵羽(あおはちゃん)は、私たちの訪問時も話しかけると笑ってくれ、お母さんも落ち着いて子育てされていて、あたたかいひと時を過ごさせていただきました。

お母さんから事前に申請されていた出生のお祝い事業の「すこやか人形」の贈呈も行い、喜んでいただきました。

今後のすこやかな成長をお祈りいたします。



「すこやか」人形について

「すこやか人形」は、大竹市社協が平成14年度から開始したものです。大竹市で出生されたお子さんのすこやかな成長を願い、そのご家庭と主任児童委員および民生委員児童委員との「かけ橋になれば」という思いで、希望者にすこやか人形を贈呈しています。

この人形は、民生委員児童委員・主任児童委員のOBを中心としたボランティアさんが2〜3か月に1度集まり、お子さんのすこやかな成長を祈りながら作ってくださっています。

ボランティアの皆さん、ありがとうございます。



ゆうあいホームへの訪問

8月31日(木)午後、大竹市玖波4丁目の社会福祉法人広島友愛福祉会「特別養護老人ホーム ゆうあいホーム」を委員21名が施設訪問しました。

この訪問は、新型コロナウイルスの流行の以前には毎年恒例の行事でしたが、今年度、4年ぶりに再開されることとなりました。

当日は、会議室において、伊藤施設長と谷口相談員から、ゆうあいホームの業務内容等を説明していただき、意見交換を行いました。その後、隣接の「養護老人ホーム ゆうあいの里」も含めた施設見学を行いました。

この訪問では、民生委員活動の参考になることも多く、日頃からの連携の必要性を感じるよい機会となりました。

業務ご多用の中、私たちの訪問を受け入れていただきました、広島友愛福祉会のスタッフの皆様に感謝申し上げます。



甘日市市・大竹市障がい者スポーツ大会

スポーツ大会

9月3日(日)、甘日市市総合スポーツセンター「サンチェリー」で、甘日市市・大竹市障がい者スポーツ大会が4年ぶりに約300名余りの参加を得て開催されました。実行委員の一員である大竹市民児協からは、今回10名の委員が支援に参加しました。

具体的には、大竹市からの競技参加者を支援するため、マンツーマンで様々な競技への参加や昼食時などのサポートをさせていただきました。

久しぶりの大会で、戸惑う場面もありましたが、何よりも、参加者の皆さんが楽しそうであったことが、一番の成果だと感じました。「やった!」「できたよ!」「1番だったよ!」など、たくさん笑顔を見ることが洗われる気持ちになりました。私たちも楽しく過ごすことができました。



広島西特別支援学校美化活動

10月17日(火)午後、大竹市玖波4丁目の広島県立広島西特別支援学校(以下、広島西特別支援学校)の美化活動に、委員12名が参加しました。

この美化活動は、広島西特別支援学校の行事で、新型コロナウイルスの流行の以前には毎年2回実施されていましたが、コロナ禍で中止が続いていたので、4年ぶりに実施されたこととなります。身体的ハンディキャップのある児童生徒さんの、「地域貢献したい」という趣旨に賛同し、大竹市社協とともに、大竹市民児協も活動支援を継続しています。



今回は、広島西特別支援学校の校門の向かいにある「スクラム広場」(玖波中学校下)の除草、ごみ取りなどを行いました。体育館での終式では、隣接の広島西医療センターの「あゆみ病棟」で生活をされている児童生徒さんとオンラインでコミュニケーションを図ることも出来ました。最後には児童生徒さんから

お礼の「手作りうちわ」をいただき、とても感動しました。

広島西特別支援学校のことをよりよく理解するとともに、児童生徒さんとの素晴らしい交流の機会となりました。業務ご多用の中、このような時間を設定していただいた、広島西特別支援学校の先生方にお礼申し上げます。



「コイ・こいフェスティバル」での交流

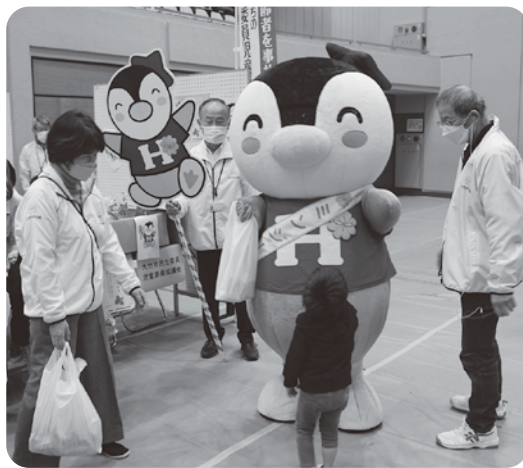
11月12日(日)、大竹市総合市民会館で開催された「コイ・こいフェスティバル」におおたけの各種団体のPRコーナーに大竹市民児協のブースを設け、委員10数名が、「ミンジー」とともに、交流活動を行いました。

民生委員児童委員は市民の皆様に生活上のお困りごとや心配ごとが生じたとき、専門機関へのつなぎ役として、市民の皆さんの相談役となり、寄り添うことを役割にしています。

そこで、民生委員児童委員を身近なものとして感じていただくとともに、何かの時には気軽に相談いただきたいと

の思いから、多くの市民の皆様が来場される「コイ・こいフェスティバル」での交流事業を実施しています。

今年度も、「ミンジー」とともにお子様の健やかな成長を願いながら、多くの親子連れの皆様との交流ができました。皆さん、ありがとうございました。



「ミンジー」は、民生委員児童委員を多くの方に知っていただくため、全国で活用されているキャラクターです。協力して子育てをすることで有名なペンギンの姿を通して、「地域における支え合いを目指す」、「社会全体で子育てを応援する」という活動に民生委員児童委員が取り組んでいることを表しています。



表彰者の紹介

令和5年度、次の委員が多年にわたる民生委員児童委員として福祉活動に貢献された功績により、表彰されました。誠にありがとうございます。

・広島県社会福祉協議会会長表彰



田中 次子さん
防鹿・穂仁原全域

・広島県民生委員児童委員協議会会長表彰 ・大竹市社会福祉協議会会長表彰



中村 里美さん
小方1丁目1～19
晴海全域

新任委員の紹介

令和5年7月25日付で、次の方に厚生労働大臣、広島県知事の民生委員児童委員の委嘱辞令が伝達され、担当地区の福祉活動の推進に従事されることになりました。委嘱期間は、令和7年11月30日までとなっています。

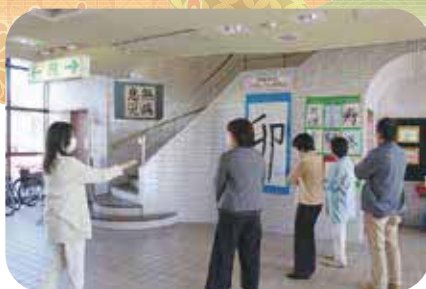
中村 由紀 玖波三丁目全域

活動アルバム

さまざまな相談に対応できるよう研修等に努めています。



2/24 こんにちは赤ちゃん事業研修会



3/14 主任児童委員視察研修



5/14 大竹市障がい者スポーツ大会



6/29 全体研修会



10/13 高齢者部会主催研修会



10/18 児童部会主催研修会

11/10 小方地区・玖波
栗谷地区合同視察研修11/21 ~ 22 全国大会広島大会
1日目11/21 ~ 22 全国大会広島大会
2日目

12/1 生活部会主催研修会①



12/1 生活部会主催研修会②



12/12 理事視察研修